



主 催 大阪市立大学 大学院 生活科学研究科

生活科学シンポジウム

HUMAN LIFE SCIENCE SYMPOSIUM

「超高齢社会における

個人と地域の幸せとは何か」

2016

2

13

土曜日

13:00 ~ 17:00

(12:00 開場)



大阪国際会議場

(グランキューブ大阪)

10階 1003(Cエレベータ)



内山 節 氏

「豊かさはどこに生まれるのか

—都市と農山村の関係をとおして—

Uchiyama Takashi

哲学者

島崎 謙治 氏

「近未来の社会と生活—医療を素材として—

Shimazaki Kenji

政策研究大学院大学教授

入場無料・申込不要

講師



内山 節

Uchiyama Takashi 哲学者

1950年東京生まれ。哲学者。40年あまり、東京と群馬県の山村、上野村との二重生活をしている。前立教大学教授。著書に『内山 節著作集』（全十五巻、農文協）の他に『「いのち」の場所』（岩波書店）、『自由論』（岩波書店）、『半市場経済』（編著書、角川新書）、『文明の災禍』（新潮新書）、『日本人はなぜキツネにだまされなくなったのか』（講談社現代新書）などがある。



島崎 謙治

Shimazaki Kenji 政策研究大学院大学教授

1978年東京大学教養学部卒業、厚生省入省。千葉大学法経学部助教授、厚生労働省保険局保険課長、国立社会保障・人口問題研究所副所長、東京大学大学院法学政治学研究所客員教授等を経て、2007年から現職。博士（商学）。社会保障審議会専門委員。主な著作として、『日本の医療一制度と政策』（東京大学出版会、2011年）、『医療政策を問いなおす一国民皆保険の将来』（筑摩書房〔ちくま新書〕、2015年）、「The Path to Universal Health Coverage」（JICA、2013年）等がある。

プログラム

- 13:00～ 開会挨拶 西川 禎一（大阪市立大学大学院生活科学研究科長）
13:10～ 宮野 道雄（大阪市立大学副学長）
13:20～ 内山 節「豊かさはどこに生まれるのかー都市と農山村の関係をとおして」
14:20～ 島崎 謙治「近未来の社会と生活ー医療を素材としてー」
15:20～ パネルディスカッション
コーディネーター 岩間 伸之（大阪市立大学大学院生活科学研究科教授）
パネラー 太田 佳美（佳豊庵）
川人 ゆかり（ローカルキャリアカフェ）
西山 進（和歌山県 企画部 地域振興局 過疎対策課長）
- 16:50～ 閉会挨拶
17:00 閉会

会場

大阪国際会議場（グランキューブ大阪）

<http://www.gco.co.jp/access/>

京阪電車中之島線「中之島（大阪府立国際会議場）駅」

2番出口すぐ

JR大阪環状線「福島駅」から徒歩約15分

JR東西線「新福島駅」3番出口から徒歩約10分

阪神本線「福島駅」3番出口から徒歩約10分

市営地下鉄千日前線・中央線「阿波座駅」から徒歩約15分

主催：大阪市立大学大学院生活科学研究科 協力：大阪市立大学地域連携センター

後援：大阪市、大阪市立大学生活科学部同窓会、大阪府社会福祉協議会、大阪市社会福祉協議会

